

レポートとして気をつけたいポイント

- である体に統一されているか
- 体言止めになっていないか
- 書き言葉になっているか
- 明確な表現になっているか
- 客観的な根拠に基づいて書いているか

レポートの表現は、ブログやエッセイとは異なるよ！
専門書や論文をよく読んで
学術的な表現や文体に慣れよう！



3

客観的かつ正確な記述

1

なるべく
言い切る！

2

根拠に基づいて具体的に
事実を正確に書く

3

「私」を登場させずに、客観的に書く
事実や主張を述べるときは「私」の視点を入れずに
客観的に述べましょう。

X

最近、よくコンビニで外国人労働者が働いているのを見かける。日本では外国人労働者が増加しているようだ。

O

日本では、外国人労働者が急激に増加している。厚生労働省によると、2017年10月末時点での外国人労働者数は127万8670人で、2012年から約60万人増加している。

こんなときコラトリエで相談してみよう

- **自分が書いた文章が読み手に伝わるか不安**
→ 一緒に、文章表現を確認していきます
- **課題が出たけど、どうしたらいいかわからない**
→ 課題を確認し、何をどう進めていけばいいのと一緒に考えます

コラトリエで相談するには？

- ① **コラトリエ (土曜キャンパス、ホーイ記念館) 2F インフォメーションカウンターで受付する**
→ 当日対応も可能ですが、予約が重なることもあるので、予約をお勧めします
- ② **問い合わせ先のメールアドレスに下記の内容を送る (氏名、学生番号、相談希望日時、相談したいこと)**
→ 相談日時のお知らせメールが届きます (平日、一両日中)

問い合わせ先
東北学院大学ラーニング・commons「コラトリエ」
E-mail : colatelier-support@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
TEL : 022-264-6570
HP : http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/colatelier/
Twitter : @tgu_colatelier
Facebook : https://www.facebook.com/tgu.colatelier/
発行 : 2018年2月

WEBはこちらから

2

学術的な文章にふさわしい
文体や表現

1

「である体」で書く

X

レポートでは、客観的な根拠に基づいて主張を述べることが重要だ。

O

レポートでは、客観的な根拠に基づいて主張を述べることが重要である。

X

レポートでは、客観的な根拠に基づいて主張を述べることが重要だ。

O

近年、SNSを通じて子供が犯罪に巻き込まれる事件が増えている日本。どうしたら、こんなひどい事件が減るんだろうか。

X

近年、SNSを通じて子供が犯罪に巻き込まれる事件が増えている日本。どうしたら、こんなひどい事件が減るんだろうか。

O

近年、日本ではSNSを通じて子供が犯罪に巻き込まれる事件が増えている。どうすれば、このような悲惨な事件が減少するのだろうか。

ミニガイド

レポートの
書き方の
コツ

文章表現編

提出する前に
確認しよう！

ラーニング・commons「コラトリエ」

1

一文一義

2

主語と述語は対応させる

X

本レポートの目的は、大学生の授業外学習の実態を明らかにする。

O

本レポートの目的は、大学生の授業外学習の実態を明らかにすることである。

X

民の意識が低い点である。

O

日本のODAの課題の一つとしてODAに対する国民の意識が低い点が挙げられる。

X

民の意識が低い点がある。

O

日本のODAの課題の一つとしてODAに対する国民の意識が低い点がある。

X

裁判員制度は、刑事裁判に有権者から選ばれた裁判員が参加する制度のことである。2009年に導入され現在7万人以上が参加しているが、裁判員制度の関心の低下や審理日数の長期化、雇用情勢の悪化などの要因から年々出席率が低下し、辞退者も増加している。

O

裁判員制度は、刑事裁判に有権者から選ばれた裁判員が参加する制度のことである。日本では、2009年から導入され、現在7万人以上が参加している。しかし、裁判員制度の関心の低下や審理日数の長期化、雇用情勢の悪化などから年々出席率の悪化などから年々出席率が低下し、辞退者も増加している。

日本語として気をつけたいポイント

1

読みやすい文

1

一文が長すぎないか

1

主語と述語が対応しているか

1

意味が2通り以上解釈できる文になっていないか

1

誤字・脱字はないか

1

読み手に伝わるか

せっかく良い考えであっても、きちんとした日本語で書かれていないと、印象が悪くなるばかりが読み手に伝わらないよ。
書いた後に、必ず声に出して読んでみよう！

レポートの表現として気をつけたいポイント

